

羊蹄山 (真狩側)

1987.3.29

L. 白沢 メンバー 手塚 蔵田

二度目の羊蹄山は道新山の家に泊まる事から始まった。予定では、前のように駐車場にテントを張るつもりだったが、泊まれるかを聞くと、初めは断られたのだが、水をもらいに行くと、同情を誘ったのか、泊めてもらえる事になった。(ちょうど、三月末で、ここの所長さんが交替で、歓送迎会をやっているところで、宿泊は断っていたらしいのだが……。私達までその宴によばれて、食事はすませていったのに、ごちそうになってしまった。)

朝、起きてみると、昨日きれいに見えていた羊蹄山は、半分より上は雲の中がっかり。これでは上までは無理だなと、私は内心早くもあきらめてしまった。とにかく出発。駐車場のそばを通ると車が留めてあり、テント泊の人もいた。シールを着けたり、置いてゆく荷物をどこに置こうかなどとやっているうちに、その人達が先行するが、途中でまた追い越す。ルートは以前来た時の記憶どおりというかんじでトレースも残っており、赤布も着いている。トラバースして尾根を越したところから前は尾根上を行っただろうと思うがトレースは尾根の横腹をトラバースぎみに登って、下部大斜面を大きくジグをきって上っていく。ここにも先行者がいて、私達はそのトレースを使わせてもらう。(日曜日なので外にもパーティが入っているだろうとの読みが当たった。) 1160m位で休憩を取った辺りから風で、雪がとばされ凍った所が時々出てくるがスキーアイゼンがきく程度なのでそのまま登るが、1300m付近からアイゼンにはきかえた。かなり傾斜もきつくなり、ガスで見通しも悪く、風もあったので、このまま登っても下りにスキーを使うのも恐いしというので、1700m付近で引き返す事にする。すぐスキーをはかず少しアイゼンのまま尾根に近いほうをおり、沢状になったところに柔らかい雪が積もっていたのでそこでスキーをつけた。少し重たい雪だが回転はしやすい。所所、かたいので緊張する。下のほうはもっと重く、大斜面なので、大きくターンしてしまう。大斜面が終わったところで休憩する。そこから下は水っぽい重い雪をほとんど直カリで行く。道新山の家によるとだれもいないようで鍵がかかっている今日は泊まれそうもない。パッキングをしながら明日はどうしようかと相談する。結論はもう一日羊蹄山を比羅夫側からアタックすることになりバスで比羅夫登山口まで移動する。(結果は次の日はやはりお天気悪くあきらめた。)

(記 蔵田)

コースタイム 6:40 出発 11:00/30 1700m付近 13:00 山の家